

## 《2024 年度 社会貢献活動》

### (1) 地域研究

沖縄大学では、研究者個人の研究のほか、全学的な全学研究プロジェクトや地域研究所の共同研究班活動に取り組んでいます。

地域研究所は、地域の課題に対し学内所員が学際的研究に取り組むことを本務に1988年に設立されました。現場に根ざした学外の研究者に地域研究所の活動に参加していただく委嘱研究員制度を設け、2024年度は66人の方々に特別研究員を担っていただきました。

#### ① 全学研究プロジェクト

地域共創・未来共創の大学理念を具体化する全学的な地域研究を推進し、大学の特色化を強め、沖縄大学が地域と共にある大学として発展する礎とすることを目的に実施しています。

#### <2024 年度>

年 目	研究名	概要	構成員 (★代表)	
			学内教員	その他
3	島コショウの伝統的な栽培・利用方法とその食品機能を活かした商品開発	沖縄で長年愛用されているピーパーズについて、伝統的な栽培・利用方法を学術的・体系的に総括し、最高な芳香を引き出す標準的な製法の確立と生理機能の評価に取り組み、地域団体と協力しその良さを活かした商品を開発する。	★宮良恵美 酒井由希子 盛口 満	新垣 慶子 外間 杏花 山門 健一 後藤 哲志 沖縄県ピーパーズ生産推進協議会
2	沖縄大学「いのちの未来の平和学」プロジェクト	2022年2月末のウクライナ戦争から始まった国際秩序の揺らぎもあり、沖縄大学が「平和と反戦」を強く発信していくような流れを作っていく、〈学び舎〉として平和教育を実践していくことを目的としている。沖縄大学の有志が集まって月一回のペースで地域市民の方々にも門戸を広げ、「戦争と平和」「人類と人権」「非暴力と自由」「差別と不寛容」「本当の意味でのSDGs」などについてのフォーラムやワークショップを企画運営して、沖縄大学から「平和と反戦」の実践活動を発信していく。	★西 章 山代 寛 須藤 義人	浜川智久仁 兼島 徹

1	沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理—より多くの命を救うために—	移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。	★富山侑美 吉川麻衣子 島田 尚徳	—
---	-----------------------------------	--	-------------------------	---

② 地域研究所共同研究

琉球弧及びアジア地域の社会・文化・自然環境等に関する調査・研究を行うことにより、優れた研究成果を創出し、地域社会に役立てられることを目的に実施しています。

<2024 年度>

年目	研究名	概要	共同研究者 (★代表)	
			所員	特別研究員
3	沖縄県を中心にした「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる総合的研究	沖縄本島および離島をベースにしながら、様々な災害概念を対象として幅広く地域研究を行い、「自然災害」と地理学・栄養学・労働法・基地問題・社会福祉の交錯にかかわる文理融合の学際的・総合的研究を進めていく。	★糸数 哲 國仲 小織	春田吉備彦 河合 罌 稲垣 暁
3	沖縄県、離島における中国語標識・案内板確認について	沖縄県内外、離島における中国語、英語標識・案内板について調査し、間違っていた中国語や英語を訂正する。	★王 志英 圓田 浩二 クリストファー・ブラッドリー	泉川 友樹
2	沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法—戦後史研究の実践から問い直す—	沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とは言い難い。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。	★若林千代 我部 聖	謝花 直美 親川 裕子 居原田 遙
1	沖縄の地域産業を牽引する企業におけるブランド志向の実践とアクションリサーチ	本研究は、ブランド・アイデンティティの「共創」を中心に据えたコーポレート・ブランディングの実践を行う沖縄県内の企業を対象とし、市場志向からブランド志向への変革と実践へ向けての一連のプロセスを考察する。	★豊川明佳 崔 珉寧	玉城 綾乃
1	離島における教育連携	地理的に不利な離島地域と大学機能（大学生による出前授業と地域交流）を連携することにより、「離島における教育機会」の課題を整理し、同時に大学機関で今後どのように地域と連携できるか模索する。	★盛口 満 喜屋武政勝 上原 周子	後藤 亜樹

1	琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究	現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷（特に近世と近代）を考古学と歴史学と社会学の視点から明らかにする。	★宮城能彦	賀数 仁然 武部 拓磨
---	-------------------	--	-------	----------------

## (2) 地域研究活動の経過・成果

地域研究活動の経過や成果を発表し、地域にも研究活動にもフィードバックが得られるような取り組みを目指しています。

### ① 地域研究公開講座

地域共創・未来共創を謳う本学の特色化に取り組む地域研究（沖縄大学全学研究プロジェクト）や地域課題に取り組む地域研究（地域研究所共同研究）を学内外に紹介しています。沖縄大学憲章にある「地球市民・地域市民の共育」「地球環境・地域環境に貢献する教育研究」「共創力を育む大学教育への変革」に資する地域貢献活動となるよう本学の地域研究活動をより地域に開かれたものとしていくことを目的に実施しています。

<2024年度>

	開催日時	講座名	研究代表者 (所属学科)	視聴者
1	7/10 (水) 13:00-14:20	沖縄県、離島における中国語標識・案内板確認について	王 志英 (国際コミュニケーション学科)	12名
2	8/26 (月) 16:00-17:30	自然災害時の労働問題と災害時非常食の備え	糸数 哲 (経法商学科)	14名
3	9/13 (金) 17:00-18:30	沖縄から「非戦」を考える	西 章 (福祉文化学科)	25名
4	11/20(水) 15:00-16:00	離島のこどもたちと教育	盛口 満 (こども文化学科)	21名
5	12/4 (水) 16:00-17:00	オーラル・ヒストリーを通じて沖縄現代史を学ぶ	若林 千代 (経法商学科)	36名
6	1/16(木) 14:40-16:10	島コショウの伝統的な栽培・利用方法とその食品機能を活かした商品開発	宮良 恵美 (管理栄養学科)	24名
7	1/22(水) 16:30-17:30	沖縄県における臓器提供に関する家族の同意・意思について考える	富山 侑美 (経法商学科)	24名
8	2/15(土) 18:00-19:30	奄美と喜界島のグスク	宮城 能彦 (管理栄養学科)	78名

## ② 発行物

- ・ 地域研究所紀要『地域研究』第32号  
地域研究所の所員及び特別研究員が地域研究活動の経過や成果を発表する紀要を発行しています。2024年度は第32号を発行し、論文2編、研究ノート3報、実践研究報告1報を掲載しました。
- ・ 彙報第13号『琉球列島の里山－記憶の記録－(2)』盛口満著  
琉球列島の島々のお年寄りから往時の人里周辺の自然環境や人々の自然利用についての聞き取りをまとめたもの。彙報第12号『琉球列島の里山－記憶の記録－』の続編。

## (3) 地域共創

沖縄大学の理念「地域共創・未来共創の大学へ」に向けて、学部生・院生のフィールドワークや地域に開かれた土曜教養講座、自治体等との連携事業を推進しています。

### ① 琉球弧研究支援プロジェクト

「地域共創・未来共創」に取り組む学部生や院生を応援する試みとして、琉球弧をフィールドとした研究や実践活動を推進しています。教員のアドバイスと活動費の補助を行っています。

<2024年度>

	研究・実践テーマ	代表者	学科	指導教員
1	琉球紅型衣装の魅力・歴史 ～紅型染の実体験を通して～	仲間 功也	経法商学科 (4年次)	島袋 隆志
2	戦争で変化した食文化 ～同じ地上戦を経験している沖縄と韓国～	金城 穂乃花	国際コミュニケーション 学科(3年次)	洪 玠伸
3	沖縄音楽のポップカルチャー ～沖縄若者たちのストリート音楽にみる 沖縄文化の力～	丸井 賢人	国際コミュニケーション 学科(3年次)	
4	沖縄そばの歴史と継承 ～沖縄そばの麺や具材に秘める思い～	平良 妃代莉	国際コミュニケーション 学科(3年次)	
5	沖縄県でハンセン病と闘う人たち ～宮古島と名護市の比較を中心に～	相馬 啓佑	国際コミュニケーション 学科(3年次)	
6	沖縄の青少年における貧困と非行・暴力の 関わりについて	中塚 静樹	国際コミュニケーション 学科(3年次)	

7	小学生の学びと遊びに関する意識の比較調査研究 ～那覇市と近海離島における生徒の現状調査～	宇良 文海	こども文化学科 (2年次)	須藤 義人
8	離島の子どもたちへの大学生による授業支援から見えてくるもの	鷺山 壽一	こども文化学科 (3年次)	盛口 満
9	地域食材を軸とした子どもへの食育	古堅 笑江	管理栄養学科 (1年次)	國本あゆみ
10	那覇とやんばるの超高齢者の食 ～野菜・野草、豆類の利用について～	幸地 沙弥奈	管理栄養学科 (4年次)	荒木 裕子

② 土曜教養講座

1976年に開講した土曜教養講座は2024年度で49年目を迎えました。

本講座は、主に学内教員・職員からの発案で実施されるもので、沖縄の様々な課題の中から時宜に合うテーマで講演会やシンポジウムを開催し、また沖縄大学の地域研究の成果を市民に広く発表する場とさせていただいています。

<2024年度>

	開催日時	内容	受講者
1	6月1日 (土) 13:30- 16:30	第604回土曜教養講座 地域の未来を拓く ～沖縄で考える地域の大学の意義と東アジアの平和～ 【司会】 高良沙哉 (沖縄大学地域研究所副所長/人文学部福祉文化学科教授) 【講師】 姜尚中 (東京大学名誉教授) 山代寛 (沖縄大学学長)	119名
2	6月15日 (土) 14:00- 17:00	第605回土曜教養講座 ぬちどう宝のケア ～生きる力を育むスピリチュアルケア～ 【司会】 安次嶺勲 (沖縄スピリチュアルケア研究会事務局長) 【講師】 玉置妙憂 (大慈学苑代表、看護師、尼僧)、宮麻衣 (元訪問・緩和ケア認定看護師) 今村昌幹 (「ぬちぐすい診療所」主宰、日本ホスピス在宅ケア研究会会員)	182名

		<p>大下大圓（沖縄大学客員教授、日本スピリチュアルケア学会理事）</p> <p>崎浜盛康（琉球大学名誉教授、沖縄スピリチュアルケア研究会会長）</p>	
3	<p>9月7日 （土） 14:30- 16:30</p>	<p>第606回土曜教養講座</p> <p>米兵事件はなぜ隠されたのか ～見えない壁の正体～</p> <p>【司会】 黒島美奈子（JCJ 沖縄（日本ジャーナリスト会議沖縄）世話人、沖縄タイムス論説副委員長） 金城正洋（JCJ 沖縄（日本ジャーナリスト会議沖縄）世話人、八重山毎日新聞を経て琉球朝日放送（QAB）入社。報道部デスクを歴任し7月退社。）</p> <p>【講師】 青木理（ジャーナリスト。ノンフィクション作家。共同通信社に入社、東京社会部、外信部などを経てフリー。著書に「日本の公安警察」「国策捜査」など。）</p>	231名
4	<p>11月30日 （土） 13:30- 16:30</p>	<p>第607回土曜教養講座</p> <p>沖縄の子どもの貧困対策の到達点とこれから ～10年目に向けて私たちが取り組むべきこと～</p> <p>【司会】 島村聡（沖縄大学地域研究所長／人文学部教授） 【講師】 島尻愛伊子（衆議院議員／元沖縄・北方担当大臣） 占部亮（内閣府沖縄振興局総務課事業推進室長） 岡田朝子（南風原町こども課） 津嘉山拡大（（株）associa） 金城隆一（NPO 法人ちゅらゆい） 山下千裕（一般社団法人くじら寺子屋） 榊原千夏（沖縄県こども未来統括監）</p>	154名
5	<p>2月1日 （土） 13:30- 16:00</p>	<p>第608回土曜教養講座</p> <p>沖縄県内における企業ブランド構築の現在地 ～先駆事例からの取り組みを中心に～</p> <p>【司会】 豊川明佳（沖縄大学経法商学部教授） 【講師】 西野諭（東急株式会社 社長室 広報グループ広報企画 担当課長） 廣瀬哲郎（株式会社りゅうせき 経営管理部 経営企画担当 次長）</p>	61名

		玉城綾乃（金秀ホールディングス株式会社 総務本部広報課 課長）	
--	--	---------------------------------	--

③ 那覇市との連携事業

- ・ 那覇市人材育成支援センターまーいまーい Naha・沖縄大学連携講座

2020年に開館した那覇市人材育成支援センターまーいまーい Naha は、沖縄の観光振興などに携わる人材の育成や、市民の学習・交流活動を支援することを目的に活動しています。人材育成事業では、国際化などの社会情勢に柔軟に対応できる人材の育成を目的に各種講座を開講しており、その一環で本学との連携講座を実施しています。

<2024 年度>

	開催日時	内容
1	7月10日(水) 18:30-20:00	シリーズ：グローバル社会における国際コミュニケーション ① 国際コミュニケーション…その先にあるもの 【講師】 伊藤 丈志 (沖縄大学国際コミュニケーション学科 准教授)
2	7月17日(水) 18:30-20:00	シリーズ：グローバル社会における国際コミュニケーション ② 英語 TV コマーシャルから異文化社会を考える 【講師】 伊藤 丈志 (沖縄大学国際コミュニケーション学科 准教授)
3	7月24日(水) 18:30-20:00	シリーズ：グローバル社会における国際コミュニケーション ③令和の留学事情 【講師】 伊藤 丈志 (沖縄大学国際コミュニケーション学科 准教授)
4	12月5日(木) 19:00-20:30	シリーズ：異文化を学ぶ ①フランスのココが面白い 【講師】 金城 豪氏 (沖縄大学非常勤講師)
5	12月12日(木) 19:00-20:30	シリーズ：異文化を学ぶ ②ドイツ文化の魅力 【講師】 西 章氏 (沖縄大学福祉文化学科准教授)
6	12月19日(木) 19:00-20:30	シリーズ：異文化を学ぶ ③意外と知られてない英語発祥の国 【講師】 伊藤 丈志 (沖縄大学国際コミュニケーション学科 准教授)

- ・ 那覇市議会との連携事業

那覇市議会と沖縄大学は、市民に開かれ地域の多様な主体と協働して未来の共創を目指すという共通理念をふまえ、2023年に包括的に連携協力を図る協定を結び

ました。

本協定に基づき、10月16日（水）に「那覇市の未来共創ワールド・カフェ～学生&議員・教員～」を開催しました。国際コミュニケーション学科1年次の問題発見演習で、5つのテーマ（文化・芸術、健康行政、教育行政、観光行政、まちづくり）で10グループに分かれ、那覇市の抱える問題や改善案などを話し合いました。

また、上記ワークショップを経て、11月9日（土）に「那覇市若者ミライ議会」（那覇市議会議場での模擬議会）を実施しました。

#### ④ 近隣自治体との連携事業

- ・ 子どもの貧困ソーシャルワーク研修事業

那覇市、豊見城市及び糸満市と沖縄大学が協力し、子どもの貧困対策に取り組む支援員や居場所職員等がその職能を習得する研修委託事業を10回実施しました。

- ・ 南部広域市町村圏事務組合広域研修事業

沖縄県南部圏域における広域的な政策課題等に取り組む人材を育成する研修委託事業を実施しました。

#### （4）「出前講座・体験授業」の実施

沖縄大学では、地域貢献の一環として多様な学習機会の一助となるよう、小学校・中学校・高校への「出前講座・体験授業」の実施をしています。

「出前講座・出前授業」（小学生・中学生・高校生向け講座） 開催講座数：26講座

	開催日	実施高校	講座名	担当講師
1	6月4日	首里東高等学校	目標を達成するにはコツがある	石原端子
2	6月21日	東風平中学校	沖縄戦から何を学ぶか？	宮城能彦
3	6月28日	陽明高校	SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）を体験しよう	名城健二
4	7月4日	沖縄市立島袋小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛
5	7月16日	南風原高校	世界史のなかの戦争と沖縄	若林千代
6	7月23日	宜野座高校	自分探しはやめよう	宮城能彦
7	7月23日	宜野座高校	何のために進学するのか	宮城能彦
8	7月26日	宜野座高校	世界の言語事情	伊藤丈志
9	7月26日	宜野座高校	世界の英語事情1	伊藤丈志

10	7月26日	宜野座高校	世界の英語事情2	伊藤丈志
11	7月26日	首里東高等学校	幸せってなんだ？	樋口耕太郎
12	10月1日	糸満高校	何のために働くの？	宮城能彦
13	10月4日	普天間高校	沖縄の歴史・文化入門	宮城能彦
14	10月16日	中部農林高校	Verval and Nonverval Communication 見た目はそんなに大事？	末吉綾乃
15	10月30日	南風原高校	ワーク&ライフ・バランスとは何か	島袋隆志
16	11月13日	北中城高校	18歳までに知っておきたい法学	高良沙哉
17	11月19日	南風原高校	国際コミュニケーションって何？	伊藤丈志
18	12月17日	西崎小学校	知ってびっくりタバコの真実	山代 寛
19	12月19日	八重山高校	自分探しはやめよう	宮城能彦
20	1月17日	中部農林高校	ワーク&ライフ・バランスとは何か	島袋隆志
21	1月24日	読谷高校	Verval and Nonverval Communication 見た目はそんなに大事？	末吉綾乃
22	1月27日	具志川商業高校	ライフデザイン	小野啓子
23	2月4日	八重山高校	18歳までに知っておきたい法学	高良沙哉
24	2月4日	読谷高校	性の多様性ってなんだろう？	吉川麻衣子
25	2月5日	安岡中学校	ストレスとの上手い付き合い方	名城健二
26	2月5日	読谷高校	18歳までに知っておきたい法学	高良沙哉

(5) 地域住民への図書の貸し出し

地域住民が利用する公共図書館に目的の資料がなく、その資料が沖縄大学図書館にある場合、公共図書館を通じて地域住民への資料の貸し出しを行っています。

2024年実績

	依頼日	依頼館
1	4月12日	沖縄県立図書館
2	4月19日	豊中市立岡町図書館
3	6月5日	石垣市立図書館
4	6月28日	沖縄県立図書館
5	7月8日	沖縄県立図書館
6	8月23日	恩納村文化情報センター
7	10月18日	宮古島市立図書館
8	12月10日	護佐丸歴史資料図書館

9	1月6日	沖縄県立図書館
10	1月17日	石垣市立図書館

(6) 学外者の図書館利用

2024年度は図書館を利用した学外者は、年間を通じて124名の利用がありました。また学外利用者の問い合わせに応じ、図書の照会や検索をしたのは19件でした。

(7) 講師の派遣

沖縄大学では、教員を自治体等へ委嘱委員、講師として派遣しています。政策形成への寄与、知の還元等により地域社会への貢献を行っています。

2024年度 学外委員・講師等の派遣数

学科	教員数	派遣教員数	単発派遣	中・長期派遣	合計
経法商学科	23	13	4	22	26
国際コミュニケーション学科	11	3	5	1	6
福祉文化学科	16	8	36	16	52
こども文化学科	9	6	14	6	20
管理栄養学科(助手)	19	9	10	14	24
その他(職員等)		5	4	2	6
合計	78	44	73	61	134

※単発派遣・・・1回のみ講師派遣

※中・長期派遣・・・1年未満～1年以上の派遣